

成長のテキスト

「母の日：熱心に祈るハンナ」

I サムエル記 1:1-20

2020.5.10 HKJCF

1

概観

母の日にふさわしい人物、祈りの戦士として有名なハンナについて学ぶ。祈りの重要性と人生の優先順位を学びたい。

アウトライン

- | | |
|-----------|--------|
| 1. ハンナの家族 | V1-8 |
| 2. ハンナの姿勢 | V9-16 |
| 3. ハンナの信仰 | V17-20 |

2

1. ハンナの家族 V1-8

- 1) エルカナ：「神が所有された」；エフライムの地域のレビ人；二人の妻；毎年シロ(40km)で礼拝；ハンナを愛し、慰めようとした。
- 2) ハンナ：「いつくしみ」；子宝に恵まれなかつた；神の恩寵から外れていない(ミリヤム、デボラ)；信仰者の女性として(テトス 2:3-5)。
- 3) ペニンナ：「サンゴ」；二番目の妻；おそらく子孫のために結婚；ハンナをいらだたせた。
- 4) 理解してもらえない辛さ：神に、夫に。

3

2. ハンナの姿勢 V9-16

- 1) 泣いて祈る：復讐せずに、心の痛みをただ主に。涙：憐れみの主の心を捉えるカギ。
- 2) 誓願して祈る：取引ではない；「万軍の主」、「その子の一生」、「かみそり」=生涯ナジル人として(民数記 6:1-8)；大きな犠牲。
- 3) 心の内で祈る：聖書初のサイレント祈祷；天の父に向って捧げる(マタイ 6:5-8)。
- 4) イスラエルとエリの靈性：酔っ払いの誤解；靈性の停滞(士師 21:25)；祈りが稀になった。

4

3. ハンナの信仰 V17-20

- 1) 祭司の祝福：仲介者の働き(ヤコブ 5:13-16)；祝福を宣言(解放、癒し、回復、赦し、力)。
- 2) ゆだねていく：神と祭司に対する信頼；顔つきと食事=引きずらない、囚われない信仰。
- 3) 具体的に行動する：祈るだけではない；夫との関係の回復；期待をもつ重要性。
- 4) 主の恵みを覚える：サムエル=「神の名」；①神への愛 ②夫への愛 ③子供への愛。マリヤの賛歌のモデル(I サムエル 2:1-10)。

5

適用

①祈りを通して主との関係を深められる：
ハンナはだれにも理解してもらえない、心の内にある思いをひたすら主に訴えて、主はハンナの依頼を実現してくださった。

②祈りを通して主のご計画に参加できる：
サムエルの出産を通して、イスラエルの信仰と国家として、リバイバルがもたらされることになった。

6

5

6